

平成24年4月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成23年12月2日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 ダイサン
 コード番号 4750 URL <http://www.daisan-g.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成23年12月2日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 三浦 基和
 (氏名) 金山 修二
 配当支払開始予定日

TEL 06-6243-6341
 平成24年1月20日

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年4月期第2四半期の業績(平成23年4月21日～平成23年10月20日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年4月期第2四半期	4,184	25.5	333	433.1	341	418.0	264	912.6
23年4月期第2四半期	3,332	19.1	62	—	65	—	26	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年4月期第2四半期	34.93	—
23年4月期第2四半期	3.45	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭
24年4月期第2四半期	7,059	—	4,827	—	68.4	638.10
23年4月期	6,553	—	4,604	—	70.3	608.60

(参考) 自己資本 24年4月期第2四半期 4,827百万円 23年4月期 4,604百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	円 銭	
23年4月期	—	0.00	—	5.00	円 銭	5.00
24年4月期	—	5.00	—	—	円 銭	—
24年4月期(予想)	—	—	—	5.00	円 銭	10.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年4月期の業績予想(平成23年4月21日～平成24年4月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,850	15.3	520	123.3	500	114.7	400	64.1	52.87

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年4月期2Q	7,618,000 株	23年4月期	7,618,000 株
② 期末自己株式数	24年4月期2Q	52,040 株	23年4月期	52,040 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年4月期2Q	7,565,960 株	23年4月期2Q	7,565,960 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は実施済みです。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	2
2. 四半期財務諸表	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
第2四半期累計期間	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 継続企業の前提に関する注記	7
(5) セグメント情報等	7
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(7) 重要な後発事象	8
3. 補足情報	8
生産、受注及び販売の状況	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国の経済は、平成23年3月の東日本大震災によるインフラの破壊、個人消費の後退、部品調達面での制約などにより一時失速したものの、その後の生産能力の回復や復興支援により持ち直し傾向にあります。ギリシャやイタリアの金融危機が世界的経済不安につながりかねず、輸出環境の悪化により先行き不安定な状況となっております。

当社に関連の深い住宅・建築業界におきましては、先の大震災による一時的な低迷から地域間格差はあるものの立ち直りの兆しを見せており、住宅エコポイントの駆込み需要やその他の住宅支援策も寄与し、住宅着工戸数が前年を上回る状態になりました。

このような状況の中、当社は平成23年2月厚生労働省の認定を受けた『社内検定制度ビケ足場施工』を核としたサービス品質向上と住宅足場の手すり先行工法『ビケ足場B X工法』の普及に努め、安全・安心・感動の施工サービスの提供に努める傍ら、事業のコスト構造の改善に取り組んでまいりました。

また、製商品販売事業においては、住宅・建築業界の復旧需要に加え、グループ事業として施工品質改善の取り組みや市場創造努力などが奏功し、部材の販売が大きく伸張しました。

以上の結果、当第2四半期累計期間の売上高は4,184百万円（前年同期比25.5%増）となり、収支面でも前年と比較すると大幅に改善が見られ、営業利益333百万円（同433.1%増）、経常利益341百万円（同418.0%増）、四半期純利益は264百万円（同912.6%増）となりました。

セグメントの業績は、次の通りであります。

①施工サービス事業

施工サービス事業につきましては、大手得意先の受注回復により、売上高は2,574百万円（前年同期比2.6%増）、売上総利益は419百万円（同4.1%増）となりました。

②製商品販売事業

製商品販売事業につきましては、ビケ部材を中心に受注が堅調に推移し、売上高は1,551百万円（前年同期比102.8%増）、売上総利益は570百万円（同111.0%増）となりました。

③その他

その他につきましては、業務受託料および保険代理店収入等で構成されており、売上高は58百万円（前年同期比0.3%増）、売上総利益は34百万円（同6.8%減）となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

当第2四半期会計期間末の総資産は、受取手形及び売掛金の増加701百万円等により前事業年度末に比べ505百万円増加の7,059百万円となりました。

有利子負債は新規社債の発行等により前事業年度比25百万円増加の802百万円となりました。

純資産は、前事業年度末に比べ223百万円増加の4,827百万円となり、自己資本比率は68.4%となりました。

(3) 業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想につきましては、当第2四半期累計期間の業績を踏まえ、平成23年6月3日公表いたしました平成24年4月期（平成23年4月21日～平成24年4月20日）の業績予想を修正しております。

詳細につきましては、平成23年11月17日に公表いたしました「平成24年4月期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は今後様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年4月20日)	当第2四半期会計期間 (平成23年10月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,460,399	1,294,301
受取手形及び売掛金	1,524,121	2,225,379
たな卸資産	558,727	571,554
その他	588,315	522,574
貸倒引当金	△19,476	△25,552
流動資産合計	4,112,087	4,588,256
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,450,583	1,450,583
その他(純額)	343,366	337,912
有形固定資産合計	1,793,949	1,788,496
無形固定資産		
投資その他の資産	156,177	184,254
その他	524,683	532,926
貸倒引当金	△33,424	△34,669
投資その他の資産合計	491,259	498,256
固定資産合計	2,441,386	2,471,007
資産合計	6,553,473	7,059,263
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	508,653	663,366
1年内償還予定の社債	180,000	220,000
1年内返済予定の長期借入金	130,300	62,200
未払法人税等	30,504	83,677
賞与引当金	110,107	152,193
その他	374,555	380,652
流動負債合計	1,334,121	1,562,089
固定負債		
社債	450,000	520,000
長期借入金	16,300	—
役員退職慰労引当金	81,800	84,800
資産除去債務	50,125	50,459
その他	16,516	14,061
固定負債合計	614,741	669,321
負債合計	1,948,863	2,231,410

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年4月20日)	当第2四半期会計期間 (平成23年10月20日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	566,760	566,760
資本剰余金	649,860	649,860
利益剰余金	3,387,037	3,613,514
自己株式	△14,962	△14,962
株主資本合計	4,588,694	4,815,171
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	15,915	12,680
評価・換算差額等合計	15,915	12,680
純資産合計	4,604,610	4,827,852
負債純資産合計	6,553,473	7,059,263

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成22年4月21日 至平成22年10月20日)	当第2四半期累計期間 (自平成23年4月21日 至平成23年10月20日)
売上高	3,332,760	4,184,156
売上原価	2,621,896	3,158,963
売上総利益	710,864	1,025,193
販売費及び一般管理費	648,373	692,056
営業利益	62,491	333,137
営業外収益		
受取利息	411	1,255
受取配当金	7,601	7,640
受取賃貸料	3,066	3,576
その他	5,280	7,970
営業外収益合計	16,359	20,442
営業外費用		
支払利息	7,422	3,880
社債発行費	—	3,517
支払保証料	2,643	2,109
その他	2,885	2,694
営業外費用合計	12,952	12,201
経常利益	65,898	341,378
特別利益		
貸倒引当金戻入額	11,837	—
特別利益合計	11,837	—
特別損失		
固定資産除却損	7	1,653
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	34,273	—
特別損失合計	34,280	1,653
税引前四半期純利益	43,456	339,725
法人税、住民税及び事業税	11,491	75,653
法人税等調整額	5,863	△235
法人税等合計	17,354	75,418
四半期純利益	26,101	264,307

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成22年4月21日 至 平成22年10月20日)	当第2四半期累計期間 (自 平成23年4月21日 至 平成23年10月20日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	43,456	339,725
減価償却費	33,108	42,981
貸倒引当金の増減額(△は減少)	2,589	7,321
賞与引当金の増減額(△は減少)	37,931	42,085
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	2,900	3,000
社債発行費	—	3,517
受取利息及び受取配当金	△8,012	△8,895
支払利息	7,422	3,880
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	34,273	—
売上債権の増減額(△は増加)	△311,709	△701,257
たな卸資産の増減額(△は増加)	195,036	△12,826
仕入債務の増減額(△は減少)	△20,755	157,602
その他	148,764	71,666
小計	165,004	△51,198
利息及び配当金の受取額	8,012	8,895
利息の支払額	△8,224	△4,555
法人税等の支払額	△10,837	△21,427
法人税等の還付額	42,975	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	196,930	△68,285
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△16,246	△22,405
無形固定資産の取得による支出	△18,270	△47,396
貸付けによる支出	△10,220	△7,110
貸付金の回収による収入	6,900	7,682
その他	△13,383	△12,926
投資活動によるキャッシュ・フロー	△51,219	△82,155
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△102,400	△84,400
社債の発行による収入	—	196,482
社債の償還による支出	△90,000	△90,000
配当金の支払額	△37,669	△37,739
財務活動によるキャッシュ・フロー	△230,069	△15,657
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△84,358	△166,098
現金及び現金同等物の期首残高	1,437,287	1,460,399
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,352,929	1,294,301

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期累計期間(自平成22年4月21日 至平成22年10月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他	合計
	施工 サービス事業	製商品 販売事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,509,537	765,326	3,274,864	57,896	3,332,760
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,509,537	765,326	3,274,864	57,896	3,332,760
セグメント利益	402,929	270,510	673,440	37,423	710,864

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、業務受託料および保険代理店収入等であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の売上総利益であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期累計期間(自平成23年4月21日 至平成23年10月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他	合計
	施工 サービス事業	製商品 販売事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,574,278	1,551,791	4,126,070	58,086	4,184,156
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,574,278	1,551,791	4,126,070	58,086	4,184,156
セグメント利益	419,479	570,820	990,299	34,893	1,025,193

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、業務受託料および保険代理店収入等であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の売上総利益であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

当社は、平成23年10月19日開催の取締役会において、私募債の発行について決議し、以下のとおり実施いたしました。

発行内容

①発行した社債の名称	株式会社ダイサン第5回無担保社債 (株式会社りそな銀行保証付および適格機関投資家限定)
②発行価額	額面100円につき金100円
③発行総額	金2億円
④利率	年0.79%
⑤償還方法	6ヶ月毎、金20,000,000円償還
⑥償還期限	平成28年11月10日(5年債)
⑦発行日	平成23年11月10日
⑧担保の内容	無担保
⑨資金の使途	長期運転資金

3. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

当第2四半期累計期間における生産高は、前年同期と比べ9億59百万円増加(190.4%増)しており、これに伴い販売高は前年同期に比べ7億73百万円増加(108.9%増)しております。なお、金額は販売価格によっております。